

研究課題名: 有効視野と周辺視野への注意配分の差異が視覚情報処理に与える影響

研究代表者: 猪村 剛史 (医系科学研究科 リハビリテーション情動科学 准教授)

研究対象者募集

異なる注意配分時の視覚野の脳活動などを測定できる研究対象者を募集しています。

【参加募集要件】

- 右利きの20～25歳の方
- 本研究の参加に文書による同意をいただける方
- 神経疾患の既往がない方
- 日常生活において眼鏡を使用していない方

その他、状態によってはお断りさせていただくことがあります。

●測定場所: 広島大学 (霞キャンパス 保健学科棟 1006室)

●実施概要:

本研究では、脳波による脳活動測定用のヘッドキャップを装着し、脳活動を計測した状態で課題を行っていただきます。課題としては、目の前のスクリーンに表示される矢印の向きをなるべく早く答えていただきます。その際、ご自身の注意をスクリーン中央部のみに向ける、もしくは、注意をスクリーン全体へ向けていただいた場合で矢印の判別課題を実施します。両条件ともに、一定の間隔で、スクリーン上に別の視覚刺激を提示することで視覚刺激によって得られる脳の活動を計測します (所要時間は、説明や準備を含め60～90分程度です)。

●募集期間: 研究実施許可後～2026年12月31日

●応募方法: 下記お問い合わせ先に記載のメールアドレスまでご連絡をください

●謝礼: Quoカード 1,000円分

☆詳しい研究の内容は事前にご説明いたします。

実際に参加するかどうかは任意であり参加の可否を説明後にお決めいただけます。
たとえ研究に参加されない場合であっても不利益が生じることはありません。

お問合せ先: 猪村 剛史 (広島大学大学院医系科学研究科)
広島大学 霞キャンパス保健学科棟 913号室
メールアドレス: imuratksh@hiroshima-u.ac.jp

この研究で得られた情報は、個人を特定できる情報(名前、年齢など)は記載せずに解析されます。研究の成果は、学会発表や論文として公表しますが、個人を特定できる形では公表しませんので、個人情報を守られます。